

ARAI NEWS

勝つための条件 「素早く」「確実に」

レースとは、あらゆるパーツについても、その取付け・交換のスピードと確実性がものをいう世界です。例えば今年の日耐です。トップチームのタイヤ交換は10秒を切っていました。ライダーの走りで1秒詰めるのは大変なことです。でもタイヤ交換の1秒も、走りの1秒も日時の中では同じ1秒です。いかに早く、しかも確実に取付け交換ができるか、すべてのスタッフが一刻を争っています。そして今話題のアドシスも、こんなレースの思想と必要性からも生まれたシステムなのです。

レースでのシールド交換

これまでのシールド交換というものは面倒なものでした。パーツをなくさないようネジを外し、取り付ける際には、本体との隙間を埋めるように、押えながらネジを締めるという気を使わなければならぬ作業でした。どんなに天候が不安定でも、スタート30分前には、シールドをスマートにするか、クリアにするかを決めて用意しなければなりません。ですからコースイン直前に、スマートにしておけば良かったと思っても、それでは後の祭りだった訳です。ところがアドシスならば、すばやく交換が可能で、しかも取り付け位置は、常に同じ位置に取り付けられるので、ウォーミングアップ後のグリッド上でも安心してシールドの決定と交換が可能となったのです。



もうAd.Sisなしでは走れない。

すでに世界GPでもマモラやサロンがIGAでアドシスを使用しています。GPではライダー自身がヘルメットのメンテナンスをする場合が多いこともあって、もうアドシス以外のシールドシステムのものを使用することは考えられないと、うれしい太鼓判をいただいている。一刻を争うレースの世界で、必要不可欠な要素である「素早く」しかも「確実に」取り付けられるという条件を満たしたアドシスは、レース界でも主流となっていくことでしょう。もちろん、パートなレースで便利なものは、みなさんにとっても便利なはずです。

手持ちのヘルメットにアドシスがつく!

このアドシスを、みなさんお持ちのアライに取付けられるキットバーツが発売されます。cLo RX-7VやアストロVに対応するアドシスLタイプキット(¥5,400)とラバイト系に対応するアドシスNタイプキット(¥5,400)です。キットの内容は、シールド、ホルター、シールドベースで、現在のホルターのネジ穴にそのままシールドベースを取り付ければそのままアドシスになります。最新のシステムを得るために、本体を貰い戻さなければならないということが世の中では当たり前のようになっていますが、ユーザー様ひとりひとりは、にとっての大好きなスポンサーです。その方々にも是非アドシスを試していただきたいという想いの気持ちが、キットバーツというカタチになりました。ホルターにネジが見えるかどうか、それがアドシスの目印です。ご注目下さい。

レースファン必読
「アドシス」キットバーツ発売